

【様式 2】

学校関係者評価書

佐賀県立ろう学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和 7 年 2 月 2 1 日 (金)

(2) 資料 (評価の参考とした資料)

ア 令和 6 年度学校評価計画

イ 職員、保護者、児童生徒 学校評価に係るアンケート項目一覧

ウ //

結果一覧

エ 令和 6 年度学校評価結果

(3) 評価者氏名 学校評議員

//

//

P T A 会長

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

昨年度の学校の状況を踏まえた目標が設定されており、具体的な取組内容に対して数値目標も設定されていて達成状況が可視化されていると評価をいただいた。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

評価のための外部アンケートも実施しており、評価結果も妥当であると評価をいただいた。また、地域支援の具体的取組後の成果（巡回相談の件数など）が分かりにくいというご意見をいただき改善を検討している。

③改善方策の適切さ

本年度の重点評価項目として、学部間の連携については、6 月より主事会を設定し、情報交換が密になされ、幼・小・中・高と 1 つの学校の組織としてある強みが活かされていると評価をいただいた。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

昨年度の学校評価を基盤に目標を設定し、達成に向けて取組がなされており、達成状況も理解しやすいと評価をいただいた。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

重点目標を達成するための取組内容をしっかりと検討していて、その目標を達成するための具体的内容も分かりやすいという評価をいただいた。また、個々の生徒の進路の方針を早めに決定することで、サポートが受けられやすいとの助言をいただいた。

③改善方策の適切さ

中間報告でも問題点をしっかりと洗い出し、未達成だった項目の改善が見られたと評価をいただいた。

3 その他学校に対する意見や提言

今後のろう学校や聴覚障害教育の発展のために、以下のような助言や提言をいただいた。

- ・子どもたちがより良い教育環境で学習できるよう学校運営の改善に取り組んでいることが分かった。
- ・今年度は大きな行事があり大変だったと推察されるが、学校、生徒、保護者が一丸となった取組で充実したものになった。子どもたちにとって、良い経験、すばらしい思い出となったことだろう。
- ・今後も子どもたちとわかりあえるコミュニケーションを土台に、ろう教育の継続をお願いしたい。
- ・大学の先生などから学ぶ授業研究会を継続してほしい。
- ・子どもたちが自発的にステップアップできるような「さがろうスタイル」となるような取組をお願いしたい。
- ・幼稚部からろう学校で学んだ生徒2名が大学進学をした。すばらしいことだと思うので情報発信してほしい。この経験を今後につなげてほしい。ろう学校の新たな挑戦に期待している。
- ・巡回相談やろう学校についても、もっと認知してもらえるような方策を考えてほしい。